進路だより

令和元年度　第1号
下関南総合支援学校　進路部
令和元年7月16日

〈現場実習〉





今年は梅雨入りが遅く、雨の少ない日が続いています。進路部では例年この時期と秋に現場実習を行っています。

今年も高等部普通科2・3年生と中学部準ずる課程の3年生を対象に現場実習を行いました。例年、天候不順に悩まされていますが、今年は比較的天候に恵まれ、混乱もなく無事終了しました。

実習先は一般企業としてスーパーマーケット・ホテル・パン工場、福祉事業所として、B型事業所・生活介護事業所等で行いました。技能の習得だけでなく、人間関係・コミュニケーション等、通常では得にくい貴重な体験を得ることができ、進路選択について考えるよい機会となりました。

また、この実習について振り返りを行い、次回に生かすために実習報告会を行いました。報告会では一人ひとりが実習の反省とこれからの決意を保護者を含め多くの人の前で発表することができました。

〈障害福祉サービス合同説明会〉



今年度も、下関市内の小学校・中学校の特別支援学級、特別支援学校の小・中・高等部の保護者が多数参加のもと、5月29日に社会福祉センターで開催されました。

市内の福祉関係43事業所が参加し、保護者との面談を行いました。障害福祉サービスも過当競争の時代を迎え、事業所独自のサービスを打ち出すところも多くあり、利用者本人や保護者にとっては大いに参考になったと思います。

〈ナカポツセンター〉

正式には「障害者就業・生活支援センター」といい、「ナカポツセンター」とはその略称です。

同センターは障害のある方の身近な地域において、就業面と生活面の一体的な相談・支援を行う支援機関で、国と都道県から事業を委託された法人が運営しています。山口県内には、現在6か所設置されており、下関市圏域は、

なごみの里（社会福祉法人下関市民生事業助成会）に設けられています。
　一般企業での就労を希望する障害のある方や、障害のある方の雇用に取り組んでいる、これから取り組みたい企業への相談・支援を行っています。
　特別支援学校では主に、一般就労が決定した卒業予定者に対し、卒後の支援のために同センターへの登録を奨励しています。実際、卒業後の就労がうまくいかない場合に相談に乗ってもらったり、場合によっては学校側も交えてケース会議を行ったりしています。



　8月8日、本校多目的教室でなごみの里の同センターの主任就労支援担当者の横山美恵子氏を招いて進路研修会を開きます。障害のある方たちの就業や生活に対する支援の話が聞けると思います。保護者の皆様もぜひご参加をお願いします。